

ふかや 市議会 だより

NO. 51 2018. 8. 7

- ・特集 アンダーパスで白熱 P2~3
- ・正副議長紹介 P4
- ・市政のここが聞きたい P6~13
(市政一般質問)
- ・政務活動費収支報告 P15

原郷上野台線整備事業

「アンダーパス」で白熱した討論。

地下埋設管の切り回しに係る費用 **15対8**で
1億8,400万円を含む補正予算を可決！

村川徳浩 議員

この事業は約57億円という巨額の予算を投じ、アンダーパスによる立体交差で上柴地区と国済寺地区をつなぐ計画であるが、現状のままでも良いのではないかと。市は事業を進める理由として、地元住民からの強い要望、議員8人が参加した都市計画審議会でもオーバーパスからアンダーパスへの変更が承認されたこととしている。

私の見解を申し上げますと、地元住民からの要望、陳情書の内容は「オーバーパスを見直しアンダーパスか平面交差にしてほしい」という内容だったはずである。新たな踏切の設置はできないため、アンダーパスかオーバーパスの二者択一となり、結果的にアンダーパスとなった。しかし、大きな問題がない現在の芝野踏切を使い続けるという第3の選択肢もあるのではないかと。長期工事による住民の負担や歩行者・自転車利用者の利便性を考えれば、むしろ地域住民からも望まれる選択肢でないかと思う。

次に都市計画決定の変更は、当時示されたオーバーパス約10億円、アンダーパス約20億円という見積額である。これを根拠に、約3倍にも膨れ上がった、現在の事業計画も承認されたとするのは、あまりにも乱暴である。議会は、良識ある判断をするべきだ。

最大の反対理由は、約57億円もの巨額の事業費を投入するのであれば、市はもっと他のことに使うべきである。様々な考え方はあるが、優先順位がアンダーパスより上の事業は数多く存在する。

このような状況下でありながら改めて議論することなく、いきなり約57億円という巨額の事業費をアンダーパスのために充てると判断することは、到底市民の理解を得ることはできない。

反対討論

高田博之 議員

私が本案に反対する理由はただ1つ、アンダーパスに対する不安である。

地球温暖化により、かつてない規模の水害が発生しており、かつての雨量の4倍になることも考えられるという。ポンプの設置、風船の自動遮断機設置、カメラの設置等々報告をされたが、いずれも安心できるものではない。停電時には発電装置も用意するのだろうか、この装置が故障したとき、機能が麻痺してしまう。昨今、アンダーパスの中で車の水没事故が何度もニュースになっており、いずれも死亡事故である。

行政が1番に実行すべきことは、市民の安心と安全である。これから大金をかけて長期間の工事をするのは、納得できない。アンダーパス、オーバーパス、平面交差でも、道路建設に伴う鉄道との交差は、真っ先に安心安全が確保されなければならない。

都市計画決定された審議会には、多くの議員も参加しており、その中で、アンダーパスが承認されたという説明があった。審議会の開催時点では、昨今のような異常なほどの大雨は無く、想定もされなかったと思われる。アンダーパスでの事故は、最近のことである。災害は、人間の想定を超えるものがある。事故があつてからあわてて対策をするというのが、各地の事例である。大規模水害発生時に、水が溜まり通行止めとなった場合、幹線道路としての役割を果たすことができず、救急車両も通れない。これから作る道路として賛成できない。

松本政義 議員

これまで原郷上野台線は、良好な市街地環境を整備する都市計画の一環として、上柴・国済寺・常盤町の区画整理事業の中で、長年にわたり整備してきたものである。

この道路は、JR高崎線で二分されている上柴地区と国済寺地区を結ぶとともに、市内交通の

賛成討論

円滑化を図るための重要な幹線道路である。北通り線の開通にも目途が立ち、国済寺土地区画整理も事業を進める状況が整ってきたと聞いている。国済寺地区の土地区画整理事業の完成を考慮すると、原郷上野台線立体交差工事アンダーパスの早期着手を進めていくべきだと考える。



芝野踏切から見た計画予定地

JR高崎線芝野踏切は、幅員が狭く角度もきついことから通行可能な右左折の規制がかけられていません。平成27年からの過去3年間でも9件の事故が発生し、通行するには危険な踏切です。

6月定例会では、この問題を解決する市道原郷上野台線のアンダーパス方式の計画を問う白熱した討論がなされました。

原郷上野台線 事業計画の推移

昭和38年 3月	原郷上野台線の都市計画決定	
平成 9年 3月	陳情書の提出 地元自治会から「アンダーパスもしくは平面交差に」との陳情書が提出。 (上柴町西1丁目)	あることから、アンダーパスで事業を進めることに方針変更。
11年 7月	地元自治会役員への説明会 オーバーパス事業概要の説明会実施。	
13年12月	地元自治会への説明会 その後の経緯について説明を求められ、地元自治会に説明会を行った。その際に「オーバーパスでの立体交差に関して反対意見が出された。」(上柴町西1丁目)	
14年 8月	整備手法について再検討 オーバーパスとアンダーパスの2案について施工方法や工事工程、概算工事費用等を再検討。	
15年 5月~6月	地元自治会への説明会 都市計画決定された道路用地内でアンダーパスの施工が可能であり、概算事業費は、オーバーパス約10億円、アンダーパス約20億円かかることを説明。	
6月	アンダーパスへ方針変更 地元からは地下式(アンダー)への要望が強く、日照権問題等にも配慮が必要で	
平成22年 7月	地元自治会への説明会 アンダーパスへの都市計画変更のスケジュール、構造概要などを説明。	
23年 1月	都市計画変更 深谷都市計画審議会において、アンダーパスへの変更理由、構造形式、地元説明会、埼玉県との事前協議等の結果について説明。議論の結果、アンダーパスへの都市計画の変更について、「同意する」との答申。	
2月~3月	都市計画の変更手続き完了	
24年12月	議会に事業概要を報告 事業期間約8年、事業費約48億円	
25年10月	地元自治会に事業概要を報告 事業期間約8年、事業費約48億円	
29年 2月	市長定例記者会見でアンダーパスへの着手を発表	
30年 3月	議会に総事業費を再報告 総事業費約57億円と報告。	

議長・副議長紹介

6月4日議会初日、投票により議長・副議長が選出されました。



議長 新井 清



副議長 茂木 一郎

・議長・副議長就任のあいさつ・

市民の皆様には、平素より深谷市議会に對しまして、ご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私たちは、このたび第2回定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長・副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますとともに、改めてその職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

さて、地方を取り巻く環境は厳しく、少子高齢化対策、景気・雇用対策、教育施策など喫緊の課題が山積しております。こうした中、深谷市では本年度、今

後10年のまちづくりの指針となる「第2次深谷市総合計画」を策定し、その第一歩を踏み出したところでございます。

私たちは深谷市議会といたしまして、市民の代表として議会の果たすべき役割を十分認識し、将来都市像「元氣と笑顔の生産地 ふかや」の実現に向け、誠心誠意取り組む所存でございます。

市民の皆様におかれましては、引き続き市議会に対する格別のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

常任委員会

■福祉文教委員会
委員長 田口 英夫

人事案件

■産業建設委員会
委員長 角田 義徳
副委員長 五間くみ子

条例改正 老人福祉センターの一部廃止

解説

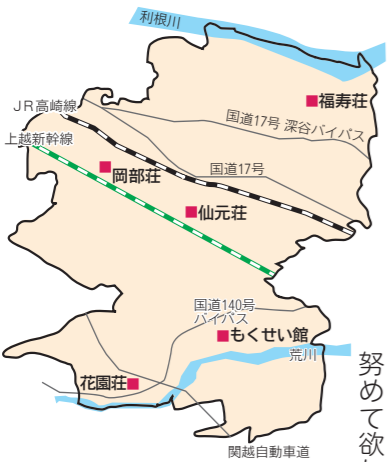
市内の老人福祉センター等（うち1施設は高齢者福祉青少年活動複合施設）は5施設あるが、施設の老朽化が進む中で「公共施設適正配置の短期方針」により3施設を段階的に廃止する。

なお、残る2施設に機能を集約し強化を図っていく。

花園荘31年4月1日、岡部荘31年10月1日、仙元荘32年4月1日をもって廃止する。

Q 今後、もくせい館と福寿荘の利用者が増えることが予想される。残された2施設の福祉サービスが低下しないか。

A 車を利用する方が多くいるので、もくせい館の駐車場整備



高田 博之

討論

反対

を予定している。今後は健康づくりと介護予防の取り組みを充実させて、機能の強化を図ってきたい。

Q 仙元荘の利用者は多く、行政コストもそれほどかかっている。廃止せずに活用は考えられないか。

A 仙元荘は耐震改修もしており、利用者も多いのは確かである。それを前提としても、築46年も経過しており、このままの利用は困難である。

賛成

福祉に目を向けるのが政治や行政の役割ではあるが、老朽化した建物の維持コストをなくすことで、他の福祉サービスへ振り向けることも考えなくては。利用者には丁寧な説明に努めて欲しい。

契約 川本・藤沢消防分署建替え

解説

消防分署の耐震化計画は、平成28年度に策定され、議会で報告された。

現在、深谷市消防本部消防署は2署（深谷・花園）6分署（藤沢・豊里・岡部・上柴・川本・寄居）で構成されている。

このうち竣工から48年が経過している川本分署を筆頭に40年以上経過している藤沢、岡部、豊里分署も老朽化が進んでいる。いずれも大規模改修は実施しているが、抜本的な老朽化対策には至らず、かつ耐震補強も実施されていない。

その対応として、老朽化の進んでいる4分署を段階的に建替えしていくものである。



藤沢分署 建替え工事安全祈願完成は来年夏

Q

今回2分署の建替え工事契約というご建替え工事の請負業者が、両契約とも同一業者になっているが問題ないのか。

A 以前は、ひとつの入札を落札すると次の入札ができる

今年度は藤沢、川本分署の建替え工事を予定し、今議会で建替えに係る工事請負契約の締結の承認を求める議案が提出された。

Q

今回2分署の建替え工事契約というご建替え工事の請負業者が、両契約とも同一業者になっているが問題ないのか。

A 以前は、ひとつの入札を落札すると次の入札ができる

い「いち抜け方式」を実施していたが、建築工事の入札参加平均が昨年度は2・4社と少なく、18回の入札に対して9回不調になっているということから、入札参加業者がいなくなってしまう事態が考えられ、「いち抜け方式」は見合わせた。

また、今回の請負業者は低入札価格調査によるヒアリングも実施しており、資格を持った技術者もおり、受注要件を満たしているの問題はない。

6月定例会 議案に対する各議員の賛否（一部掲載）

議案	深谷同志会											深政クラブ			深和会		公明党		共産党		彩新		審議結果			
	角田義徳	茂木一郎	富田勝	武井伸一	田口英夫	清水健一	柴崎重雄	馬場茂	為谷剛	石川克正	吉田幸太郎	倉上由朗	松本政義	高田博之	新井清	仲田稔	五間くみ子	三田部恒明	中矢寿子	清水修	佐久間奈々	鈴木三男		村川徳浩	田島信吉	
税条例等の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
老人福祉センター条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
産業交流施設条例を廃止する条例・産業交流施設（深谷ベース）を廃止する議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の無償譲渡（上手計自治会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産の取得（水槽付消防ポンプ自動車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結（藤沢分署）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結（川本分署）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

5月臨時会

工事請負契約の締結（新庁舎建設）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

※会派名は、共産党は日本共産党、彩新は彩新クラブです。
※議長は可否同数のみ採決に参加します。
※○は賛成、×は反対です。

市政のここが聞きたい

議会のホームページから、議会の映像がご覧いただけます。

スマートフォンをお持ちの方は、氏名下のQRコードを専用アプリで読み取ると、それぞれの録画映像がご覧いただけます。

質問項目一覧 (通告順)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 仲田 稔 <ul style="list-style-type: none"> ①原郷上野台線について ○ 中矢 寿子 <ul style="list-style-type: none"> ①改正バリアフリー法への取り組みについて ②介護予防事業について ○ 五間 くみ子 <ul style="list-style-type: none"> ①市における自治会の役割は ②教育行政について ○ 鈴木 三男 <ul style="list-style-type: none"> ①国民健康保険税について ②市道の整備について ③臨時財政対策債について ④同和行政について ○ 田口 英夫 <ul style="list-style-type: none"> ①幡羅官衙遺跡について 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 角田 義徳 <ul style="list-style-type: none"> ①原郷上野台線について ②岡部地域の発展に向けて ○ 富田 勝 <ul style="list-style-type: none"> ①花園IC拠点整備プロジェクトについて ②ふかや市商工会との連携について ○ 石川 克正 <ul style="list-style-type: none"> ①行財政について ○ 佐久間 奈々 <ul style="list-style-type: none"> ①深谷市歌を防災無線で流すことから考えられる行政と個人のあり方について ○ 清水 修 <ul style="list-style-type: none"> ①放課後児童健全育成事業について ②地元農産物を学校給食に ③指定管理者制度について 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 村川 徳浩 <ul style="list-style-type: none"> ①新川本公民館の建設について ②原郷上野台線アンダーパスについて ③消防ポンプ車の入札について ○ 田島 信吉 <ul style="list-style-type: none"> ①川本公民館複合施設建設地について ○ 三田部 恒明 <ul style="list-style-type: none"> ①消防行政 ○ 清水 健一 <ul style="list-style-type: none"> ①働き方改革への対応について ②花園地区インフラ整備について ③公共施設適正配置について
---	---	--

なぜ、この時期に原郷上野台線に着手するのか

A 整備効果の早期発現や区画整理の完成に向け着手するのか。

原郷上野台線以外に市内に都市計画決定された道路は、何路線あるのか。

市内の都市計画道路は、国県道も含めると42路線あり、未着手は西通り線など、市道で7路線ある。

なぜこの時期に原郷上野台線なのか、他の道路との整合性はどうか。

原郷上野台線の全線開通による整備効果の早期発現や国済寺土地区画整理事業の完成も視野に入れ、この時期に着手する必要がある。

都市計画決定が昭和38年3月22日、最終変更が平成23年3月25日とあるが、最終となると変更の余地はないように聞こえるが、意味はあるのか。

原郷上野台線の都市計画決定は4回変更していることから、直近、最後の変更という意味で表現をした。

電光掲示板、バルーン式自動遮断機を設置することだが、豪雨時に冠水により利用できないことも想定され、また、車両の水没による

仲田 稔



死亡事故など、危険と認識しているのに進めようとするのか。

雨水排水や通行止め対策等、安全に努めていく。

降水に備えてポンプ3台を設置することある。防災対策としての年間の維持管理費も予想されるがいくらかかるのか。

現段階では、算出していない。



電光掲示板、バルーン式自動遮断機 設置イメージ

改正バリアフリー法に対する今後の取り組みは

A 今後の国からの情報に注視しつつ対応していく

中矢 寿子



Q 改正バリアフリー法の成立により努力義務として求められている基本計画の策定だが、パラリンピックメダリストを生んだ深谷市として、「人に優しい街づくり」をアピールするような条例整備をしようか。

A 改正バリアフリー法は、公布間もないこともあり国から具体的策定方針は示されていない。今後の情報に注視しながら調査研究していきたい。

Q 新庁舎建設や公民館建設の際、ユニバーサルシートの設置はあるか。

A 新庁舎は1階東側に設置予定。岡部公民館にも設置する予定である。

介護予防事業について

Q これまでの介護予防事業の取り組みではなく、各地で成果報告されている「フレイル予防」を導入してはどうか。

A 今までの介護予防事業は社会参加という側面が若干希薄だった。埼玉県が推進していたモデル事業が、フレイル予防の3要素を取り入れた



A それも一つの案かと考えている。

Q サポーターの人数や今後の養成計画について聞きたい。

A 現在は毎年50人程度を目標に養成することにも、スキルアップ等による質の向上も図っていききたい。

事業だったことから平成28年度より「通いの場」として活用開始した。

Q 自治会に「通いの場」を各種団体にも広げていくはどうか。

A それも一つの案かと考えている。

なぜ、この時期に原郷上野台線に着手するのか

A 整備効果の早期発現や区画整理の完成に向け着手するのか。

原郷上野台線以外に市内に都市計画決定された道路は、何路線あるのか。

市内の都市計画道路は、国県道も含めると42路線あり、未着手は西通り線など、市道で7路線ある。

なぜこの時期に原郷上野台線なのか、他の道路との整合性はどうか。

原郷上野台線の全線開通による整備効果の早期発現や国済寺土地区画整理事業の完成も視野に入れ、この時期に着手する必要がある。

都市計画決定が昭和38年3月22日、最終変更が平成23年3月25日とあるが、最終となると変更の余地はないように聞こえるが、意味はあるのか。

原郷上野台線の都市計画決定は4回変更していることから、直近、最後の変更という意味で表現をした。

電光掲示板、バルーン式自動遮断機を設置することだが、豪雨時に冠水により利用できないことも想定され、また、車両の水没による

仲田 稔



死亡事故など、危険と認識しているのに進めようとするのか。

雨水排水や通行止め対策等、安全に努めていく。

降水に備えてポンプ3台を設置することある。防災対策としての年間の維持管理費も予想されるがいくらかかるのか。

現段階では、算出していない。



電光掲示板、バルーン式自動遮断機 設置イメージ

自治会の現状を踏まえ、庁内検討を

A 庁内関係部署、関係団体を含め、話し合いをしていく

五間 くみ子



Q 現在の自治会加入状況は。

A 本年4月現在加入率は73・0%である。

Q 現状の課題と市の見解は。

A 構成員の高齢化、組織の担い手の確保など大きな課題となっている。近年の自然災害が多発している状況下で、地域コミュニティの重要性・必要性は再認識されており、その核となる自治会の支援を積極的に推進する必要があると考えている。

Q 市が求める自治会の役割は。

A ささまざまな活動を通して、地域コミュニティの核として重要な機能を果たしている。また、高齢者の見守りや防犯パトロールなど、自治会は市と地域を結ぶ重要なパイプ役である。

Q 公民館の分館としての根拠は。

A 社会教育法・深谷市公民館条例で位置付けている。

Q 具体的事業は。

A 体育祭、公民館祭り、分館対抗のスポーツレクや家庭教育学級等の文化事業である。

Q 自治会の役割は多岐に渡っており、それらは増加傾向で、自治会によっては負担である。市は、自治会の重要性を認識しているが、その一方で課題は個々の自治会内で解決すべきと捉えていないか。自治会が大切なパートナーであるならば、全庁挙げて自治会が担う役割について検討を始めるべきと思うが。

A 自治会の実情を把握し、庁内関係部署や関係団体と話し合いをしてまいりたい。



分館対抗の体育祭

高すぎる国保税。せめて多子世帯の均等割の減免を

財政が厳しく、減免するにしろは困難である

鈴木 三男



Q 国保税が高すぎて支払いが大変困難である。家族が増えることに加算され、家族の多い世帯は大変な負担である。多子世帯の均等割を減免している自治体は、県内にあるのか。
A 減免は、ふじみ野市と杉戸町。鴻巣市と富士見市は制度改正に伴う激変緩和の減免で3年の措置である。

Q 深谷市の国保加入者で18歳未満の子どもが3人以上いる世帯はどれくらいあるのか。金額はどうか。
A 260世帯で301人、その金額は、およそ632万円である。

Q 深谷市でも多子世帯の均等割を減免すべきではないか。
A 高齢化に伴う医療費の増大など財政も厳しく減免は困難である。

Q 深谷市でも多子世帯の均等割を減免すべきではないか。
A 高齢化に伴う医療費の増大など財政も厳しく減免は困難である。

臨時財政対策債の発行可能額と発行額一覧 (鈴木作成) (千円)

年度	平成	臨時財政対策債発行可能額	臨時財政対策債発行額	未活用金額
6	18	1,545,693	1,545,600	93
2007	19	1,402,436	1,402,436	0
8	20	1,313,591	1,313,591	0
9	21	2,038,742	2,038,742	0
10	22	3,749,794	1,000,000	2,749,794
11	23	3,215,605	1,850,000	1,365,605
12	24	2,667,132	900,000	1,767,132
13	25	2,583,028	2,000,000	583,028
14	26	2,447,374	2,000,000	447,374
15	27	2,210,515	1,000,000	1,210,515
16	28	1,858,020	800,000	1,058,020
予定	17	1,973,494	1,000,000	973,494

☆臨時財政対策債の発行可能額の活用を求めて質問しました。

Q 同和行政を終了したことに對する終了差し止めの最高裁の判決は、3月に上告理由なしと棄却した。
A 現在のところ整備の予定はない。

Q 県道深谷・寄居線の高崎線踏切周辺の整備の予定はどうか。
A 埼玉県に確認したところ、「踏切を拡幅するため、路線測量を実施した。引き続き関係機関と協議しながら進めたい」とのことである。

幡羅官衙遺跡を今後どう活用していくのか

史跡の保存活用計画策定の中で検討していく

田口 英夫



Q 幡羅官衙遺跡は、幡羅郡の役所跡として、国史跡として指定された貴重な遺跡である。この価値を、どのように市民の方々に伝えていくのか。
A 現在2カ所設置している案内板を増やすとともに、幡羅公民館に出土品を展示するなど幅広く検討していく。また、今年の11月10日に国史跡指定記念シンポジウムを開催するなど、より多くの市民の方々に遺跡の価値を伝えていく。

Q 今後、この歴史的な遺産をどのように活用していくのか。
A 文化庁の補助を受け、史跡の保存活用計画を策定していく。この中で、市民に愛される遺跡になるよう考えていく。

Q 芝生を張るなどして、子供たちが自由にボール遊びができるような広場や、隣接する熊谷市の公園と一体的な公園として整備できないか。
A 市民にとって憩いの場となるよう、広場や公園としての整備活用も選択肢の一つとして検討していく。



幡羅官衙遺跡

岡部駅周辺の「あり方検討会」を立ち上げ協議すべき

「あり方検討会」に関しては住民主体で進めて欲しい

角田 義徳



Q 場外舟券売場環境整備協力費の過去5年間の総額と使途は。
A 平成24年から28年までの5年間で約7億3200万円である。使途については、①ポートピア岡部の周辺環境整備、②教育の充実、③地域福祉事業の財源として活用している。

Q 環境整備基金を利用してJR岡部駅周辺の整備を行うことは可能か。
A 地元の合意が得られ、市として必要なものであれば、財源のひとつとして基金充当を検討する。

Q 雨天時、駅前通りまで渋滞が発生している状況をどう考えているか。
A 鉄道会社の敷地なので市で整備できない。ピーク時の誘導や駅前広場の改良などは、県が集約し行う要望の中で、追加項目として要望する。

Q 原郷上野台線について、市がアンダーパスへの変更を判断した最大の理由を聞きたい。
A 地元自治会からの強い要望や、日照権問題等の生活環境面への配慮など、住民の意見をできるだけ計画



新岡部公民館建設予定地を望む

アウトレット連絡協議会とはどのようなものか

オープン前から検討していく

富田 勝



Q ふかや市商工会では、アウトレット関連として今年度予算計上しているが、今後立ち上げるアウトレット連絡協議会とはどのようなものか。
A 事業者、行政、鉄道、関連団体、地元関係者が一体となり、オープン前から意見交換がなされるような連絡協議会などの仕組みづくりなどを検討したい。

Q ふかや市商工会では、アウトレット関連として今年度予算計上しているが、今後立ち上げるアウトレット連絡協議会とはどのようなものか。
A 事業者、行政、鉄道、関連団体、地元関係者が一体となり、オープン前から意見交換がなされるような連絡協議会などの仕組みづくりなどを検討したい。

オープン前から検討していく

富田 勝



Q ふかや市商工会では、アウトレット関連として今年度予算計上しているが、今後立ち上げるアウトレット連絡協議会とはどのようなものか。
A 事業者、行政、鉄道、関連団体、地元関係者が一体となり、オープン前から意見交換がなされるような連絡協議会などの仕組みづくりなどを検討したい。

Q ふかや市商工会では、アウトレット関連として今年度予算計上しているが、今後立ち上げるアウトレット連絡協議会とはどのようなものか。
A 事業者、行政、鉄道、関連団体、地元関係者が一体となり、オープン前から意見交換がなされるような連絡協議会などの仕組みづくりなどを検討したい。

Q 平成30年10月の開業に向け、記念式典など、秩父鉄道と調整をしている。イベントに関しては、駐車場の確保などの課題もあるが、実施する場合には協力していく。
A 時系列で開業までのスケジュールは表明できないか。
A 事務をしていく中で、相手がいることなので正確に申し上げられない。平成32年度中の開業を目指している。



開業を待つ秩父鉄道「ふかや花園駅」

難しい政策判断に費用便益分析を採用しては

A 市の事業での費用便益分析はなじまないと思われる

Q 今後、税収が先細りする中、限られた財源で効果的な行政執行するために、行政効果を数値化し、経費で除いた分析、費用便益分析（B/C）の一部採用を検討してもいいのでは。B/C分析は、国の政策判断では一般的になっている。議会としても、難しい政策判断の際、その判断材料として有効と思うが。

A 市ではこれまでも予算編成について施策別枠配分方式を採用し歳出規模の適正化を図り、成果重視の行政活動を推進している。また執行後には行政評価を実施し、事業の有効性の検証も行っている。

市の事業では福祉の増進など効果を貨幣換算できないものが多く、B/C分析になじまないと思われる。しかし、費用対効果をより意識できるように、評価指標の見直しなど内容の検討を行っていく。

Q 市ではこれまでもさまざまな行政改革の取り組みを行っており、職員意識の向上に寄与し、効果が見えてきている。また、市では外部評

石川 克正



価委員会（まちづくり評価委員会）を立ち上げ、事業目的を見定めることに力点を置き、事業遂行自体が目的化（目的の形骸化）するのを防ぐ取り組みを行っている。目的の数値化（B/C分析）もそのねらいである。今後の展開を聞きたい。

A 委員会からは経営的視点の提言をいただいている。この成果を全施策に水平展開できるように努めていく。

費用便益分析とは何か

- ・Cost-Benefit Analysis(CBA)
 - ・プロジェクト／事業の採否に関する意思決定に際して、費用と便益を比較
 - ・費用、便益とも貨幣表示
 - ・単純なルール：費用<便益なら実行
費用>便益なら実行しない
- 「メリットとデメリットを考慮に入れて決定」

防災無線で市歌を流すのは行政行為として適切か

A 市歌普及のためで問題ない

Q 防災無線で深谷市歌が流されることに違和感を持つとの意見を市民よりいただいた。市民に多様な意見や価値観がある中で市の「多様性の尊重」の受け止めと政策への反映は、「多様性の尊重」に関して、第2次総合計画で位置づけている。政策の立案や推進の際には、多様な意見を聴取し市政に生かしている。

Q 行政における「多様性の尊重」とは、市民に多様な価値観があることを認識のうえで、情報提供と説明責任が果たされることと考えるが見解は、

A 市の政策に賛否があるのも事実だが、市民からしっかりと意見を聞くことと実行の際しっかりと説明することが不可欠と考えている。

Q 花園アウトレットの収益見込みについての事務監査請求が行われたが、議会や市民に対しての情報提供の少なさから起きたものだと思う。監査委員が十分な監査を行えるよう情報提供がされるべきだがどうか。

A 誠実に対応する。

佐久間 奈々



Q 防災無線は必ず耳に入れるという機能を持つ。深谷市歌は市民の連帯感や郷土愛の醸成という政治目的がある。防災無線を使って政治目的のあるものを流す行為は行政と市民の距離感を考えたとき、適切か。

A 市歌普及のため防災無線で流している。市歌は市民のものなので問題ないと考えている。

Q 目的は理解するが1年以上流し効果もあつたと思う。多様な価値観を尊重し、放送の期限を検討すべき。変更の機運が高まれば検討する。



防災行政無線

学童保育の支援員、専門職に見合った処遇改善を

A 支援員が働きやすい職場になるよう対応していきたい

Q 学童保育で子どもたちが安心して過ごせる生活を保障するためには、専門的な知識・技能を備えた支援員が継続的・安定的に子どもにかかわることが不可欠である。しかし、現状では、それを保障するような勤務条件・待遇になっていない。専門職に見合った支援員の処遇改善を。

A 公立学童の支援員の賃金の状況は、室長、主任支援員、支援員、支援員補助員となっており、室長の報酬は月額15万円。室長以外の支援員の賃金は、時給制となっている。また、民間学童の状況は、保育料や市からの委託料、補助金により運営されている。平成27年度からは、処遇改善等事業補助金を交付し、支援員の賃金の改善を図っている。今後も、公立・民間ともに支援員が働きやすい職場になるよう対応していく。

Q 学校給食は、生徒の心身の健全な発達に資するものであり、かつ、生徒の食に関する正しい理解と適切



清水 修



な判断力を養う上で重要な役割を果たしている。学校給食を豊かにするために地元農産物の使用を。

A 米については、すべて市内産の「彩のかがやき」を使用している。また、平成29年度より地元農家で組織する市園芸協会から野菜の無償提供を受けており、生徒が市の野菜を食べる機会がふえるとともに、給食だよりでPRすることで、保護者にも地産地消の啓発をしていく。今後とも地元農産物をふやしていきたい。

教育委員会は把握していない

A 教育委員会は把握していない

Q 教育長、教育部長が参加した報告会で「川本公民館建設委員会は恫喝に始まり恫喝に終わった」という発言があつたのに、なぜその場で事実確認をしなかったのか。

A 後日、職員に確認したが、恫喝は無かつたと報告を受けている。

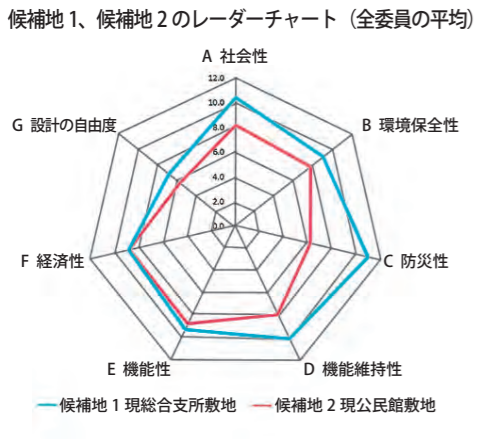
Q なぜ本人ではなく、職員に確認したのか。

A 以前、川本公民館建設委員長にも確認したが、恫喝は無かつたとの答えがあつたため必要ないと考える。

Q 川本公民館建設委員会の委員による評価（リーダーチャート）は総合支所の方が上なのに、投票の結果は8対7の1票差で現公民館の跡地が上回っている。委員の意思が（恫喝に影響されずに）反映されたと考えているか。

A 市長に対して、正式な要望書が提出されたので委員の意思が反映されたと考えている。

Q 教育委員会は、恫喝は無かつたとしているが、元委員（社会教育委員経験者）は、恫喝はあつたと勇氣



村川 徳浩



ある告発をした。第三者委員会を設けて調査を行うべきではないか。

A 当事者がどう考えるかが先であると考えている。

Q 我が恫喝の有無の調査を行う時には協力してもらえないか。

A 任意団体の活動について、行政が関与するには相当の理由がある場合に限られる。

Q 総合支所の跡地だけでは公民館建設が出来ない訳があるのか。何らかの力が働いているのか。

A そういった事実は一切ない。

Q 平成32年の新庁舎完成に向け、市民サービスの向上を図り、経費を削減し、市職員の労働生産性を高めるため働き方を改革するべきだが、どのようなことを行っていくのか。

A 平成32年の新庁舎完成に向け、市民サービスの向上を図り、経費を削減し、市職員の労働生産性を高めるため働き方を改革するべきだが、どのようなことを行っていくのか。

Q 140号バイパス荒川交差点を中心に、通勤時間帯や休日に渋滞が発生しており、本年11月には大型商業施設がオープンし、平成32年度にはアウトレットがオープン予定で、更なる渋滞が予想されるが、道路整備予定は、どうなっているのか。

A 交通状況の変化を勘案しながら整備箇所の選定を行っていく。

Q 花園地区道路整備の考えはー

A 140号バイパス荒川交差点を中心に、通勤時間帯や休日に渋滞が発生しており、本年11月には大型商業施設がオープンし、平成32年度にはアウトレットがオープン予定で、更なる渋滞が予想されるが、道路整備予定は、どうなっているのか。

Q 小前田駅東側ガード下から、荒川までの排水管敷設工事が進められているが、工事が完了している所からつなぐべきと考えるが、いかがか。

A 工事了る箇所からつないでいるが、今後も順次接続していく。

A 小前田雨水幹線工事は平成32年度完成予定である

Q 花園地区の排水や生活環境整備の進捗は



小前田第5雨水幹線工事

Q 公共施設適正配置の進捗はー

A 平成25年から34年までの10年計画だが、現在の削減床面積と進捗率、削減効果について聞きたい。

Q 平成29年度末現在、削減床面積約1万5500平方メートル、進捗率63・5%、削減効果金額は年間約1億6千万円となっている。

Q ICTやAIの導入、アウトソーシングを検討するため、国庫補助を利用して調査研究していく。

A ICTやAIの導入、アウトソーシングを検討するため、国庫補助を利用して調査研究していく。

清水 健一



スマホはこちらから

Q 川本公民館建設地の調査委託業者案不採用の過程は

A 最大降雨時の浸水がわかり、教育委員会で決めた

田島 信吉



スマホはこちらから

Q 調査対象地は、総合支所及び公民館敷地の2カ所である。報告会では2カ所以外の場所を探索とした。委託コンサルの提案は、調査仕様書により浸水対策として地盤や床の高上げ等、十分可能かつ合理的なものである。「総合支所は千年に一度の最大降雨時に敷地の一部が浸水する」別な場所と決めた過程及び理由は。

A 教育委員会では、2カ所とも浸水することがわかり、建設場所として難しいと決定した。有識者からは近くに安全な場所があればその方が良く聞いた。有識者の氏名等は明かせない。



川本総合支所

Q 建設の早期実現をー

A 水防法の改正に伴い現公民館の危険性が判明して以来、地域の住民市議会会派幹事長など多くの者が要望を繰り返してきた。この期に及んで新たな建設地を探索するという過酷な調査報告は撤回し、早期実現を望む。

A 水防法改正の趣旨に鑑み、防災上の観点からどちらの場所に建築することも難しいと考えている。

Q 消防団加入促進及び準中型免許取得公費負担について

A 学生消防団、事業所表示に取組み免許取得は研究する

三田部 恒明



スマホはこちらから

Q 平成29年、制度創設後の学生消防団活動認証制度についての現状は。

A 平成30年4月現在、大学生2名と専門学校生2名が在団している。認証証明書の発行実績はまだ無い。

Q 制度周知の入り口は入学生全員を対象とすべきではないか。

A 大学・専門学校に依頼し、今後制度周知に努めていく。

Q 消防団協力事業所表示制度は平成21年度からのスタート。現状は。

A 本年4月現在、市内3農協と民間1社が認定されている。

Q 認定基準の緩和を含め、更なる周知と拡充を図る必要がある。両制度とも先駆的な政策であり消防団加入促進、事業所における認知等、相乗効果を期待する。改善点は。

A 埼玉県「消防団応援の店」に市内15事業所が参画し団員への割引等サービスを行っていることから、深谷市表示証の交付を検討する。団員一人のみでも災害時優先して活動に従事することを支援していただくことを条件に緩和策を検討していく。



学生消防団員の活動

学生消防団員

消防団協力事業所

議会のうごき

4月 行事内容

9(月) 小学校・中学校入学式



24(火) 議員全員協議会

5月 行事内容

2(水) 議会運営委員会

9(水) 第1回臨時会
深和会行政視察 ~11日
山形県上山市ほか
・上山型温泉クアオルト事業
・村山市空家等対策計画
・新庄市エコロジーガーデン利用計画
第3期計画の経過及び第4期



新庄市役所

28(月) 議会運営委員会、議員全員協議会

6月 行事内容

4(月) 議会運営委員会、議会開会、議案説明
5(火) 新庁舎建設工事 安全祈願祭
7(木) 議案質疑
ふかや花園駅 現地視察

11(月) 福祉文教委員会

12(火) 産業建設委員会

13(水) 総務委員会

18(月) 一般質問

19(金) 一般質問

22(金) 議会運営委員会、議会閉会、議員全員協議会

平成29年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として交付されるものです。また、市政に関する調査研究その他議会活動を共同して行うことを目的として議長に結成を届けた会派に対して交付されます。

支給額は、議員一人当たり年額300,000円（月額25,000円）です。



単位（円）

会派名 (人数)	深谷同志会 ※(8人)	深政クラブ ※(2人)	深和会 (3人)	公明党 (3人)	日本共産党 (3人)	深成会 (3人)	彩新クラブ (2人)	
交付額(A)	2,150,000	850,000	900,000	900,000	900,000	900,000	600,000	
自己負担額(B)	2,580		13,902					
支出額(C)	2,152,580	524,891	913,902	899,747	383,288	686,738	538,896	
支出項目	調査研究費等	2,134,337	524,891	913,902	474,890		332,356	206,692
	研修費	10,000			126,934	13,000	216,608	
	広報費					314,948	93,248	191,416
	広聴費					31,428		
	資料作成費					5,660		
	資料購入費	8,243			34,278	18,252		4,200
事務費				263,645		44,526	136,588	
差引額(A+B-C) 市への返還額	0	325,109	0	253	516,712	213,262	61,104	

※年度途中に会派間に異動があったため、交付額に差異が生じています。

支出項目の内容について

項目	内容	主な例
調査研究費等	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費や調査研究その他の活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費です。	資料印刷費、調査委託費、文書通信費、交通費、旅費、宿泊費、車借上料、ガソリン代等
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費です。	講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、参加費等
広報費	会派が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費です。	広報紙・報告書等印刷費、会場費等
広聴費	会派が行う住民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取（アンケート）、住民相談等の活動に要する経費です。	資料印刷費、会場費、文書通信費、交通費等
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料作成に要する経費です。	印刷製本費、翻訳料、事務機器購入費、リース料、コピー代等
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費です。	書籍購入費等
事務費	会派が行う活動に係る必要な備品、文具、消耗品等購入、通信等に要する経費です。	備品購入費、文具代、事務機器購入費、コピー代等

なお、詳細は深谷市ホームページをご覧ください。

深谷市議会 政務活動費 検索



（ふかや市議会だより）は、点字版とCD版を発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL: 027-36563）へご連絡ください。

議員全員協議会

市から議会へ次のような報告がありました。

地域新電力事業に関する協定の締結

ふっかちゃんでんき ふかやeパワー



深谷市は、エネルギーの地産地消を進め、域内資金循環等による地域経済の活性化を図り、事業の収益を地域課題解決等の市民サービスに充てる、地域新電力事業を進めていきます。

すでに、平成30年4月3日に『ふかやeパワー株式会社』（代表取締役 高丹秀篤氏）、通称『ふっかちゃんでんき』が市内に設立されており、深谷市は同社に出資し、環境面やエネルギー政策面での取り組みを官民協働で行っていきます。

このたび、深谷市とふかやeパワー株式会社は、地域新電力事業に連携して取り組んでいくため、協定を締結しました。



人事案件

農業委員会委員

吉田 森 森 茂 持 丸 福 長 野 塚 塚 竹 瀬 柴 設 栗 久 木 川 岡 飯 安 新 新
 田 谷 木 田 山 島 川 邊 越 内 山 崎 樂 田 保 村 田 野 藤 井 井
 光 敬 秀 忠 知 美 佐 勝 石 章 郁 安 栄 裕 行 英 敏 健 喜 津 眞
 雄 治 樹 男 實 子 明 子 子 美 夫 公 三 雄 子 可 弘 昭 光 潔 彦 夫 子

人権擁護委員

福田 百合子

一部事務組合 議会議員の選出

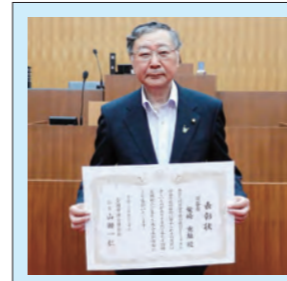
埼玉県都市競艇組合
議会議員

新井 清
(敬称略)



永年勤続議員表彰

柴崎重雄議員が全国市議会議長会並びに埼玉県市議会議長会から、勤続15年の表彰を受けました。





学校応援団の取り組み

「学校応援団」とは、保護者や地域住民がボランティアとして学習活動や環境整備など、協力・支援を行う活動組織です。



こいの会



本校は、「児童が夢と目標をもち、笑顔あふれる大寄小学校」を目標に、学校応援団との連携を図り、教育活動を進めています。具体的には、本年度もにじいろの会（読み聞かせ）・花はなプラン・田植え・稲刈り・もちつき大会・内ヶ島万作踊り学校支援など、地域の方にお世話になっています。

地域の伝統・教育力を生かした学校応援団

大寄小学校

運動会の様子



特に、埼玉県指定無形民俗文化財「内ヶ島万作踊り」は、「保存会」の皆様にご教示をいただき、全校児童が運動会で、保存会の皆様と一緒に踊ることが伝統になっています。また、環境整備や日々の登下校時の見守り活動でも子どもたちが安全に学校生活を送れるよう多大なる支援に感謝しております。

9月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
	(開会) 議案説明 決算特別委員会	議案説明 決算特別委員会		議案質疑	議案質疑	
9	10	11	12	13	14	15
	産業建設 委員会	総務 委員会	福祉文教 委員会	決算特別 委員会	決算特別 委員会	
16	17	18	19	20	21	22
		決算特別 委員会		一般質問	一般質問	
23	24	25	26	27	28	29
		一般質問		採決(閉会)		

ふかや発見



今号の表紙は

青淵偲ぶ

この屋敷は、渋沢栄一翁の生家で「中の家(なかんち)」と呼ばれています。屋敷の北東には、栄一翁、号の由来となった池の跡に「青淵由来の碑」が建っており、当時に偲ぶことができます。

(深谷市観光協会写真コンクール入賞作品から)

編集後記



西日本豪雨で200人を超える方が亡くなりました。深夜の「避難指示」から4分後に堤防の決壊、豪雨で聞きとれない防災無線、河川改修直前の決壊、市の防災についても見直しが必要ではないか。

6月議会は、補正予算に提案された原郷上野台線整備事業に関連し、高崎線の立体交差オーバースとアンダーパスで白熱した討論が交わされました。詳細は見開きページをご覧ください。各会派の平成29年度の政務活動費も今回の議会だよりに掲載されています。

みなさんのご意見をお寄せ下さい。

鈴木 三男

編集委員会

- [編集責任者] 議長 新井 清
- [委員長] 石川 克正 [副委員長] 角田 義徳
- [委員] 為谷 剛 佐久間奈々 鈴木 三男 富田 勝 田口 英夫 五間くみ子

議会の生中継・録画配信

<http://fukaya.gijiroku.com>